

令和8年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門				
政策No	22	政策名	誰もがスポーツを楽しむことができる機会の確保と環境を整備する	
所管部	教育委員会事務局教育推進部		関係部	
2 政策のめざす方向性				
新型コロナウイルス感染症の影響によるライフスタイルの変化をはじめとした社会動向を踏まえ、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に楽しみ、継続できるスポーツ活動を推進します。 スポーツ施設の計画的な整備によるスポーツ活動の場の確保やスポーツ活動を支援する担い手の育成を推進するとともに、区内企業等との連携や観光資源を活用することで、スポーツを「する」「みる」「ささえる」機会の創出やスポーツ活動の活性化につなげます。 また、障害者が日常的にスポーツに親しめるような環境づくりの取組や障害の有無にかかわらず誰もが参加できるスポーツの機会を拡充し、障害者スポーツの普及・啓発と理解促進を図ります。				
SDGsとの関係	   			
3 成果指標【政策について満足している区民の割合】				
指標の推移		計画目標値	達成度※	※評価区分 A：達成（達成度が100%以上） B：相当程度達成（達成度が70%以上100%未満） C：未達成（達成度が70%未満）
現状値	実績			
令和2年度	令和7年度	令和8年度		
28.6%	38.1%	42.4%	C	
これまでの取組と成果	・地域スポーツ教室の実施やスポーツボランティアの育成、総合型地域スポーツ・文化クラブ（スポーカル）への支援などにより、区民が身近な場所で気軽にスポーツに親しめる環境づくりを進めました。 ・区立スポーツ施設や学校施設の活用を促進し、誰もが利用しやすいスポーツの場の確保に取り組んだ結果、各施策の成果指標は概ね計画目標値を相当程度達成しています。これらの取組により、区民のスポーツ活動への参加機会の拡充や満足度の向上につながりました。			
課題と今後の方向性 ※未達成の場合は原因分析を含む	・成果目標は目標値に達しておらず、区民が実感できる効果の向上が課題です。 ・具体的には、スポーツ活動への参加機会が拡充する一方で、地域スポーツ教室の実施回数や機会には地域差が見られるほか、スポーツボランティアや団体活動においては参加者の固定化や高齢化といった課題があります。今後は、スポーツ推進委員や関係団体との連携を一層強化し、幅広い世代や多様な区民が参加しやすい取組を推進するとともに、若年層を含めた新たな担い手の確保や育成に取り組めます。 ・スポーツ施設や学校施設については、利用マナーの向上を図りつつ、持続的に安全で快適な利用ができる環境整備を進めていきます。			
4 施策の取組状況【施策評価結果】（詳細は別紙「施策評価シート」）				
No	施策名	成果指標	施策評価	
①	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進	地域スポーツ教室参加者の満足度	B	
②	スポーツ活動を支援する担い手の育成と団体等との連携	ポート・スポーツ・サポーターズクラブ（スポーツボランティア育成事業）の参加者数 総合型地域スポーツ・文化クラブ（スポーカル）の会員数	A	
③	スポーツを楽しむ場の確保と利用促進	区立スポーツ施設の利用者数 学校施設の利用者数	B	

5 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
予算額	1,323,795	1,390,131	2,099,353
流用・補正	44,824	52,374	-
決算額	1,290,525	1,373,661	-
執行率	96.07%	95.23%	-

6 政策を取り巻く社会経済情勢等	
計画期間中の社会経済状況等の変化 ・社会経済状況、人口動向、財政状況、国や東京都等の動向など	・国は、第3期スポーツ基本計画（令和4～8年度）を策定し、「誰もがスポーツにアクセスできる」環境整備等を重点として位置付けています。東京都においても、未来を見据えた新たな「東京都スポーツ推進総合計画」（令和7～12年度）を策定し、スポーツの“幸福感（ウェルビーイング）”の向上や、DX・施設・担い手確保等を政策の柱として示しています。 ・新型コロナウイルス感染症の影響が収束に向かう中で、区民の外出機会やスポーツ活動へのニーズが回復・増加しています。
区民ニーズ等 ・区民意識調査 ・区民から寄せられた意見 など	・健康志向の高まりや人口増加を背景に、身近な場所で気軽にスポーツを楽しみたいという需要が高まっています。

7 所管課による評価【一次評価】	
政策の達成状況	・各施策における成果指標がおおむね計画目標値を相当程度達成しており、区民がスポーツに親しむ機会の拡充や環境整備は着実に進展しています。 ・一方で、政策全体の成果指標である区民満足度については目標値に達しておらず、引き続き取組の充実が必要な状況です。
達成状況の要因 ・施策の有効性が高かった点 ・施策の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	・地域スポーツ教室の継続的な実施や、利用者ニーズを踏まえた種目設定により、多くの参加者から高い満足度を得ることができました。 ・スポーツボランティア育成事業やスポーカル支援を通じて、スポーツを「ささえる」人材や団体との連携が進んだことに加え、区立スポーツ施設や学校施設の利用促進により、スポーツ活動の場が拡大したことが施策の相当程度達成につながっています。
課題と今後の方向性	・スポーツボランティアや団体活動への若年層の参画促進、施設利用マナーの徹底、民間施設等を含めた多様なスポーツの場の活用が課題であり、今後は、地域や世代による参加機会の偏りを解消し、より多くの区民が継続的にスポーツに親しめる取組を進めていく必要があります。 ・引き続き、関係団体との連携を強化し、誰もが安全・安心にスポーツを楽しめる環境づくりを進めていきます。

8 港区行政評価委員会による評価【二次評価】	
評価	B：政策目的を相当程度達成
政策の達成度	・区民満足度は中間目標の上方修正により未達成に見える面があるほか、各施策も順調に推移しているため、評価は「B」に値します。 →以上を踏まえ、評価は「B」とします。
MINATOビジョン策定に向けた今後の政策の方向性 ・重点的に取り組むべき施策 など	・学校施設利用に際して、子どもの学びを妨げることがないように、施設損壊への適切な対策を進めていく必要があります。 ・成果指標「地域スポーツ教室参加者の満足度」について、適正な目標値を設定する必要があります。

施策評価シート

政策No	22	政策名	誰もがスポーツを楽しむことができる機会の確保と環境を整備する
施策No	①	施策名	誰もが気軽に楽しめるスポーツ活動の推進
目標・期待する成果	区民一人ひとりが自身の興味や関心、目的に応じて、いつでも、どこでも、誰とでも、年齢、国籍、障害の有無にかかわらず、スポーツを楽しむことができるように、身近な場所で気軽に多様なスポーツに親しめる機会を創出します。さらに、継続的なスポーツ活動へと促す取組を推進し、区民の体力向上、健康維持、増進につなげます。		
SDGsのゴールとの関係	   		
施策担当課	生涯学習スポーツ振興課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
地域スポーツ教室参加者の満足度		75%	98%	97%	94%	95%	98%
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	令和6年度は62回実施し、1,905人の参加がありました。ダンス・体操・ヨガなどの種目が人気が高く、実施回数は昨年度より少ないながら、参加者数は約500人増加し、満足度も高い水準を保ちました。			今後も区民の誰もが身近な場所で気軽にスポーツに親しみ、世代を超えて多くの人たちに満足してもらえる地域スポーツ教室事業の実施を支援します。		
令和7年度	b	令和7年度は61回実施し、2,374人の参加がありました。ヨガ・バレーボール・サッカーなどの種目の人気が高く、満足度は下がったものの、参加者数は約400人増加し、幅広い世代を対象に行うことができました。			今後も区民の誰もが身近な場所で気軽にスポーツに親しみ、世代を超えて多く人たちに満足してもらえる地域スポーツ教室事業の実施を支援します。		
令和8年度	b	今年度もより多世代に満足してもらえるような教室事業を実施できるよう、引き続きスポーツ推進委員とともに企画・運営していきます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移				計画目標値
		現状値	実績		見込値	
		令和2年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)	
令和6年度						
令和7年度						
令和8年度						

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	B：計画目標を相当程度達成できる
施策の達成状況	参加者アンケートなどで振り返りを行い、常に見直しを図っていくことで、多くの教室で参加者から高評価を得て、満足度も非常に高い数値となりました。 計画目標値が非常に高いですが、相当程度達成する見込みがあることから評価はBとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	子どもから大人まで誰もが参加することができるボッチャや、利用者ニーズの高いテニスやバドミントンなども実施したことで参加者の高い満足度を得ることができました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	地域スポーツ教室は、主に学校施設を活用し、その地域の住民などが無料で気軽に参加できるスポーツとして、区のスポーツ施策の重要な取組の一つとなっています。一方で、教室の実施回数では地域差が出ていることから、地域格差が生じています。取組を推進するスポーツ推進委員と密に連携を取りながら、全ての地域で活発に教室が開催されるよう後押ししていきます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	22	政策名	誰もがスポーツを楽しむことができる機会の確保と環境を整備する
施策No	②	施策名	スポーツ活動を支援する担い手の育成と団体等との連携
目標・期待する成果	区民のスポーツ活動を支えるボランティアの育成や指導者の確保に向けた取組を推進するとともに、情報発信を強化し、スポーツを「ささえる」活動の拡充に取り組みます。また、総合型地域スポーツ・文化クラブ（スポーカル）への支援とともに、（公財）港区スポーツふれあい文化健康財団や（一財）港区体育協会、障害者スポーツの競技団体など、多様な主体との連携を推進することで、身近な場所で気軽にスポーツができる機会を創出し、地域のスポーツ活動の活性化を図ります。		
SDGsのゴールとの関係	  		
施策担当課	生涯学習スポーツ振興課	関係課	

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
ポート・スポーツ・サポーターズクラブ（スポーツボランティア育成事業）の参加者数		64人/年	135人/年	152人/年	183人/年	210人/年	250人/年
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	a	スポーツボランティア向け講座内容及び回数を見直しました。受講者アンケートを踏まえ、講座内容の充実を図り、全7回の講座を開催しました。			講座、実践（ボランティア）活動に参加する会員が固定化している傾向があるため、若年層を含めた新規の会員の獲得や活動への参加促進策を検討し、参加者数の増加を図ります。		
令和7年度	b	スポーツボランティア向け講座内容を見直しました。受講者アンケートを踏まえ、講座内容の充実を図るとともに、実践活動の場を増やし、ボランティアの活躍の機会を創出しました。			講座、実践（ボランティア）活動に参加する会員が固定化している傾向があるため、若年層を含めた新規の会員の獲得や活動への参加促進策を検討し、参加者数の増加を図ります。		
令和8年度	b	新規会員を含めた講座参加者数の増加を図るため、受講者アンケートを踏まえて講座内容を更に充実するとともに、新たな民間スポーツイベントへのボランティア派遣など、ボランティアの活躍の機会創出を図ります。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総合型地域スポーツ・文化クラブ（スポーカル）の会員数		591人	1,218人	1,398人	1,569人	1,700人	1,405人
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 （未達成の場合は原因分析を含む）		
令和6年度	a	区内4つ目となるスポーカル三田が設立し、各競技団体等との連携事業がより活発化するとともに、競技種目が増えたことで参加者も増加しています。スポーカル三田は補助金による支援（2年目）、他のスポーカルは周知等を支援しています。			引き続き、各競技団体との連携事業やスポーカル間の交流を支援します。活動が活発化する一方で、学校施設利用マナー等の課題も増えたため、団体への注意喚起等の強化が必要です。		
令和7年度	a	区内には、4つのスポーカルが自主運営しており、各競技団体等との連携事業がより活発化するとともに、競技種目が増えたことで参加者も増加しています。スポーカル三田は補助金による支援（3年目）、他のスポーカルは周知等を支援しています。			引き続き、各競技団体との連携事業、また周知活動を支援します。活動が活発化する一方で、学校施設利用マナー等の課題も増えたため、団体への注意喚起等の強化が必要です。		
令和8年度	a	4地区のスポーカルの活動支援を引き続き行っていきます。一方で昨年度の課題でもある利用マナーの啓発も引き続き行っていきます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	A：計画目標を達成できる
施策の達成状況	- アンケートや参加者からの意見を踏まえスポーツボランティア向け講座を見直すなど、スポーツを「ささえる」活動を拡充しました。 - 各スポーカルにおける連携事業の実施やスポーカル間の交流機会の創出により活動が活性化するとともに、スポーカル三田の設立もあり、会員数が増加しました。 - 施策評価は、成果指標①及び②の達成見込みを踏まえAとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	- 成果指標「ポート・スポーツ・サポーターズクラブの参加者数」について、ボランティア機会の積極的な提供やSNSでの発信を行った結果、参加者は令和2年度の約3倍に増加しました。 - 成果目標「総合型地域スポーツ・文化クラブ（スポーカル）の会員数」について、スポーカル三田が令和5年度に設立した影響もあり、令和2年度と比較し、約3倍に増加しました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	- スポーツボランティア参加者の年齢層が比較的高いという課題があり、若年層の参加者を呼び込むための取組について検討します。 - 活動の幅を広げる一方で、各スポーカルに属するクラブ内クラブの活動内容をより透明化し、適切な運営と利用マナーを向上できるよう管理していきます。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）
B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）
C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）

施策評価シート

政策No	22	政策名	誰もがスポーツを楽しむことができる機会の確保と環境を整備する
施策No	③	施策名	スポーツを楽しむ場の確保と利用促進
目標・期待する成果	区立スポーツ施設等の計画的な整備と充実、学校施設の活用を通じて、区民の誰もが身近で安全にスポーツができる環境を整備します。また、区内の既存施設の活用や企業、大学等との連携により、区民のスポーツ活動の場の拡大を図ります。		
SDGsのゴールとの関係	  		
施策担当課	生涯学習スポーツ振興課		関係課

1 成果指標の達成度

成果指標①		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
区立スポーツ施設の利用者数		677,877人/年	1,059,557人/年	1,144,655人/年	1,028,216人/年	1,015,000人/年	1,000,000人/年
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	新型コロナウイルス感染症の影響が収まり、人口増加と相まって、利用者数が回復しています。 スポーツセンターアリーナ、サブアリーナでは、車いす競技に対応できるよう強化コーティングを行うなど、誰もが利用しやすい環境を整えました。			区民が身近な場所で安全にスポーツを楽しむことができるよう、予防保全の視点を踏まえた計画的な施設の維持保全が必要です。 また、北青山三丁目及び元麻布三丁目に新たに整備するスポーツ施設を活用し、スポーツをする場の拡充を図ります。		
令和7年度	a	スポーツセンターのプール天井が一部はく離した影響で長期間利用休止したため、利用者数が激減しましたが、運動場を含めた全体としては目標を達成できています。 麻布運動場では歩道の補修工事を行い、誰もが利用しやすい環境を整備しました。			区民が身近な場所で安全にスポーツを楽しむことができるよう、予防保全の視点を踏まえた計画的な施設の維持保全が必要です。 また、北青山三丁目及び元麻布三丁目に新たに整備するスポーツ施設を活用し、スポーツをする場の拡充を図ります。		
令和8年度	a	スポーツセンタープールの長期利用休止のため、運動需要を満たす取組として手軽にできるストレッチや体幹トレーニングなどの自主事業を展開し、区民等のスポーツの場の確保に取り組んでいきます。 また、北青山三丁目及び元麻布三丁目に新たに整備するスポーツ施設について、管理運営計画や整備計画について検討を進めます。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）
c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

成果指標②		指標の推移					計画目標値
		当初	中間	実績値（令和8年度は見込み）			
		令和2年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
学校施設の利用者数		268,325人/年	567,400人/年	416,838人/年	415,453人/年	415,000人/年	600,000人/年
	達成度	当該年度の取組と成果			課題と今後の方向性 (未達成の場合は原因分析を含む)		
令和6年度	a	施設予約システムの導入と事業の運用見直しにより、登録団体数が倍増し、校庭・体育館の稼働率が約9割と区民のスポーツ活動の場の確保に寄与しました。令和6年度は夏季休業期間の改修工事が多く、利用者数が前年度から減少しました。			学校施設開放事業の運用見直しにより多くの団体が利用できるようになった一方で、施設利用時のマナー違反等が増えており、トラブルが頻発しています。今後、3年ごとの登録更新の機会など、登録要件の見直しや運用方法の改善を図ります。		
令和7年度	b	令和6年度に引き続き、多くの団体が学校施設を利用できるよう努め、区民のスポーツ活動の場の確保に寄与しました。また、3年に1度の団体登録更新作業を行い、適正な団体運営で活動を行っているか確認を行いました。			学校設備の破損が複数件発生し、破損させた団体が受付にその旨を報告しないことによる対応の遅れが発生しました。破損等の報告は必ず行うことなどを定めた施設利用時の遵守事項に全登録団体から同意いただいているので改めて遵守事項の徹底の周知を行います。		
令和8年度	c	令和7年度に一般団体の登録要件を見直し、登録更新を行った結果、登録要件に合致しない団体が辞退等したため、団体数が減少しました。これにより、団体の予約が取りやすい状況となりました。引き続き、登録団体が活動しやすくなるよう適切な運営を行います。					

a：計画目標値を達成できる（達成度100%以上） b：計画目標値を相当程度達成できる（達成度70%以上100%未満）

c：計画目標値を達成できない（達成度70%未満）

2 施策評価

評価	B：計画目標を相当程度達成できる
施策の達成状況	スポーツ施設では、コロナ禍で激減していた利用者数も大幅に回復し、コロナ禍前の水準まで戻りつつあります。また、学校施設では、令和5年度にシステム導入と運用の見直しを行ったことで、簡易にシステムで予約できるようになったことから、大きく利用者数が増加しました。施策評価は、スポーツ施設は達成できる見込みですが、学校施設は相当程度の達成見込みであることからBとしました。
達成状況の要因 ・取組の有効性が高かった点 ・取組の有効性が低かった点 ・外部要因の影響を受けた点 など	スポーツ施設では、コロナ禍の回復による影響が大きく、利用者数が大きく増加しました。 また、学校施設では、システム導入と運用見直しを背景として同様に大きく利用者数が増加しました。
MINATOビジョン策定に向けた課題と今後の方向性	・各施設とも高い稼働率となっていることから、今後は民間施設なども活用しながらスポーツの場の確保に取り組んでいきます。 ・利用者数が伸びる一方で、利用マナーの悪い団体、営利目的で施設使用する団体などが多く発生していることから、管理・監督できる体制を強化していく必要があります。

A：計画目標を達成できる（成果指標（平均）の達成度100%以上）

B：計画目標を相当程度達成できる（成果指標（平均）の達成度70%以上100%未満）

C：計画目標を達成できない（成果指標（平均）の達成度70%未満）